

令和6年7月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和6年（2024年）7月25日（水）午前9時から午前11時まで

2 場 所

中央公民館 学習室5

3 議 題

（1）協議（審議・検討）

議案第35号 中学校教科用図書の採択について（上小地区小中学校教科用
図書採択研究協議会の報告）

議案第36号 就学援助費の支給認定について

議案第37号 東部地区小学校給食センター建設について

議案第38号 東御市図書館協議会委員の委嘱について

（2）重点取組み

ア 不登校対応について

イ いじめの状況等について

ウ 学校 ICT 教育について

エ 幼保小の連携について

（3）報告

ア 教育課

（ア）就学に際して特別な配慮が必要と思われる幼児の就学前教育相談に
ついて

（イ）夏期休業中の学校閉庁日の実施について

（ウ）令和6年度食育の推進について

（エ）「東御市の人権同和教育」（冊子）について

イ 保育課

（ア）お盆期間中の保育について

（4）その他

4 出席者

○教育長 山口千春

○教育委員

教育長職務代理者 小林 経 明

委 員 直 井 良 一

委 員 五十嵐 英 美

委 員 小 林 利 佳

委 員 富 岡 志 津 子

○その他

深井教育次長、土屋教育課長、春原保育課長、

高野学校教育係長、小宮山学校施設係長、縹沢図書館係長、

長岡指導主事、畑田指導主事、岡澤指導主事、

塚田学校教育係主事、岩下適応専門支援員

会議録

深井教育次長

ただいまから、7月度定例教育委員会を始めます。それでは、教育長から開会宣言をお願いします。

山口教育長

それでは、7月度定例教育委員会を始めます。

深井教育次長

続きまして、教育長あいさつをお願いします。

山口教育長

本日はお集まりいただきありがとうございます。

記録的な暑さを伴う梅雨でしたが、先週7月18日に梅雨明けしました。今年の関東・甲信の梅雨の期間は27日間で、6年ぶりに30日未満となりました。「10年に一度の猛暑」の予報が気になります。

いよいよ学校は夏休みに入ります。北御牧小学校と北御牧中学校は24日から、東部中学校は25日から、田中小学校、滋野小学校は26日から、祢津小学校と和小学校は27からです。

7月5日は臨時教育委員会にお集まりいただき、ありがとうございました。本年度の組織改編により、0歳から18歳までの子どもたちやその保護者を切れ目なく見ていくことがよりしやすくなりました。幼稚園保育園子ども園、小中学校それぞれの保育や教育のよさや違いを認め合い、子どもを真ん中において、幼保小連携・接続やインクルーシブな教育等を切り口にして、課題と思われる事案は解決に向けて連携を取りながら、切れ目ない保育・教育の推進をしていきます。

第2回臨時教育委員会の議題であった保育園の事案を受けて、研修の第1歩として、保育士の先生方の保育に向かう姿勢や日常の言動について、「子どもを真ん中に」「生まれたての人権を守る」をキーワードに、私から話をさせていただいています。先月、保育士の先生方は、保育専門の講師の先生の研修を受けたばかりでしたので、保育の専門家ではない私がどんな話をしたらよいか悩みました。ペアワークも取り入れながら、今まで私自身の研修や講話等の資料も見直し、平松先生の研修内容も参考にして、教育や子育ての観点から、保育に生かせそうな内容を選択し、全職員が聞けるように2回に分けて実施しており、1回目が終わりました。

感想に『子どもを真ん中に』『生まれたての人権を守る』のテーマの要点がとても分か

りやすく、とても勉強になりました。」「特に『愛語』は必ず子どもたちにその真心が伝わるという言葉が心に残りました。」「『なんでそんなことするの?』と思う行動でも、子どもにとっては何か理由があるということを改めて確認できた」等、保育士の先生方に日頃の保育について振り返りと今後どうしていったらよいかについて研修ができたと思っています。今後も園長会等で時間を取って情報交換をしながら、再発防止に向けて、取り組んでいく必要を感じております。

学校関係では、5年ぶりの教頭面談を実施しました。

教頭職とは、1つ目に日々の職務です。具体的には、学校長・教務主任等とのハウレンソウ、毎日の子どもや保護者対応や先生方からの相談や職員指導、PTAや学校応援団・学校運営協議会等の外部の方との交渉調整、送られてくる膨大な書類の差配、提出書類の作成・対応等です。そして、2つ目に、学校運営上の職務です。具体的には、学校長の願いや思いをくみ取り、自校の課題を決めだし、中長期的な新たな企画を考え提案する。学校長のその都度その都度の指示のもと、教務主任や研究主任、学年主任、養護教諭等と連携して、チームで、子どもたちのために、ある程度のスピード感をもって具現化していく等です。

毎日多忙な教頭職ですが、話をじっくり聞いていると、一人一人の教頭先生が、経験年数や校数は違いますが、自校の課題に立ち向かい、他の多くの先生方と協働しながら、精一杯考え、実行していることが分かりました。学校の「要」になって、学校運営を推進している姿があります。校長より現場や子どもたちに近く、保護者対応も多いので、ある意味学校全体を熟知している教頭との情報共有は学校や教員の様子を知るうえで大変貴重です。校長同様、今後も風通しの良い関係を継続していきたいと思っております。

また、北御牧小学校、滋野小学校及び東部中学校で学校訪問を実施しました。主幹指導主事訪問時の学校訪問以来、2か月余りでした。教育委員の皆様から、学校の施設面や子どもたちや先生たちの様子等を、授業参観を通して、意見交換や助言をしていただきました。教育委員の皆様のご指摘やご意見等に、新たな気づきをいただけた校長や教頭にとっては絶好の学びの場になったと同時に、私自身の研修・情報共有にもなりました。お忙しい中、ありがとうございました。

梅雨明け、真夏日が続く季節です。「10年に一度の猛暑」をしのぎ、健康管理には十分にご留意を頂き、引き続きお力添えをいただきたいと思います。願っております。

本日も、ご意見ご助言等、よろしく願いいたします。

(1) 協議（審議・検討）

山口教育長

議案第35号中学校教科用図書の採択について、この内容は上小地区すべての教育委員会での協議において未承認のため、秘密会としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、この議案は秘密会とします。

続きまして、議案第 36 号就学援助費の支給認定について、この内容は個人情報を含むため、秘密会としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、この議案は秘密会とします。

続きまして、議案第 37 号東部地区小学校給食センター建設について、説明を求めます。

小宮山学校施設係長

説明します。先日 7 月 8 日に第 1 回東部地区小学校給食センター建設検討委員会が開催されました。委員会内では、委員長に田中小学校長が、副委員長には栄養教諭代表が選任されました。

会議の中では、東部地区小学校の給食室の現状と目指す施設整備の計画について事務局からご説明をさせていただき、委員の皆様全員からご意見をいただいたところであります。

まず、建設や構造等に関することについてのご意見です。床構造であるドライ方式とウェット方式の違いや、建設予定地が田中小学校周辺ということもあり、通学路の安全面への配慮を希望される声もありました。衛生管理基準を満たしていない施設で、安全な給食ができていることは調理員の努力で賄われていることである、そのため、衛生管理基準を満たし、より安全な給食を作ってほしいとの意見がありました。設計にあたり、先日安曇野市中部給食センターの視察を行い、参考に検討をしています。また、「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく」ということが基本になりますが、自校方式で感じられる匂いはとても魅力的であります。また、調理するうえで、搬入から保管、下処理、調理、配膳といった導線づくりに力を入れてほしいとの意見をいただいています。

続いて、調理・食育に関することについてのご意見です。子どもは体験したことを忘れないということから、児童が自分たちで育てた野菜を給食室で調理して食べるといった食育としての取り組みを続けてほしいとの意見がありました。給食センターは既製品を多く使うというイメージがあるが、人員体制や設備等やり方を工夫することで手作りができると思われ、そういったことも検討委員会で要望を出して検討していけばよいのではないかといった意見をいただきました。現在の自校方式では炊飯も自校でやっていると思っている人も多いと思われることから、現在の委託炊飯もセンター化によって自校炊飯が可能にな

る、となるとセンター化の必要性もあるかと思われるといったご意見がありました。

続きまして、アレルギー対応に関するご意見についてです。アレルギー対応室がない施設でアレルギー対応を行うことは難しいことであり、検討委員会で出た意見をどうしたら実現できるのかを考えていきたいといった声や、給食を作る人、子どもに直接関わる先生との連携が必要であり、コミュニケーションをとって安全に取り組んでほしいといった声がありました。

これらの意見を踏まえた結果、第1回建設検討委員会では、整備方針は給食センター化とすること、建設検討委員会で出された意見や今後の建設検討委員会で出される意見を基に、より良い給食センター化を目指して話し合いを進めていくこと、さらに、建設予定場所については、田中小学校北側周辺で決定し、検討していくこととすることが確認されました。

これまでも、定例教育委員会の中でご協議等をいただき、限りなく自校給食に近いセンター化を目指すこととしておりますが、今回の建設検討委員会の結果を受けまして、再度、給食センター方式で進めさせていただくことを確認させていただきます。また、整備場所としましては、田中小学校北側周辺とします。具体的には、田中小学校北側の敷地と隣接している土地であり、およそ2980㎡を予定しています。この案をご承認いただきましたら、給食センター建設に向けて、必要な手続きを行ってまいります。

山口教育長

ご意見等ありますでしょうか。

小林職務代理

今の説明の中では、反対意見が出ていないようですが、実際のところはいかがでしょう。

小宮山学校施設係長

当日は、委員長の計らいによって、全委員が意見を述べるようにということがありました。センター化について反対だというご意見の方はいらっしゃいませんでした。

小林職務代理

給食センターの建設にあたり、安心安全が重要となってきます。安心安全に関してあまり強調された表現が見られませんが、いかがでしょうか。

小宮山学校施設係長

第1回の建設検討委員会でありますので、現状と整備計画の概要についてご説明させていただき、委員の皆様のお考えをお聞きしたところです。今後については、地産地消や食

育等の項目ごとにさらに掘り下げた形での検討していく予定であります。

その中でも、やはり食育や地産地消については、現在出来ていることが今後どのようになっているのかということをご心配されているようです。現在行っている対応を今後も継続して行ってほしいという思いが非常に多くの方から聞かれた内容です。これについては、今後さらにご意見をいただきながら検討を進めていきたい内容です。

深井教育次長

この建設検討委員会には栄養士や学校長、保育園や小学校の保護者の方々にもご参加いただいています。

今のご質問にありました「安心安全」につきましても、先ほどのご説明にもありましたように、給食調理員によって衛生管理基準を満たさない施設で給食が行われている現状で、これについては早期にしっかりと安全確保をとるべきだというご意見もいただいています。

インフラの整備については、老朽化等により費用がかさむこともありますが、アレルギー対応にも基準の中で提供できるような形が望ましいといった意見も給食調理員や識見を有する方からいただいています。

小林職務代理

趣旨としましては、報告書の中で安心安全をメインにおいたうえで、その次に食育やアレルギー対応といった事項を考えていくといった方が、市教育委員会としての視点がぼやけることなく一番のメインを伝えることができるのではないのでしょうか。

山口教育長

まさにそのとおりであると思います。

五十嵐委員には建設検討委員として参加していただいています、いかがでしょうか。

五十嵐委員

この建設検討委員会に関して、センター方式にするのか自校方式にするのかという協議については、説明資料を踏まえたうえで参加した委員は、センター方式やセンター方式での食育や施設の在り方等の意見がほとんどでしたので、私もセンター方式についての良さを重点的に、意見を述べさせていただきました。

小林職務代理

今回の意見を踏まえたうえで、次回の建設検討委員会も進めて行っていただきたいです。

小宮山学校施設係長

承知しました。今後の建設検討委員会の中でアレルギー対応や食育等の運営についても検討を進めていきたいと思えます。

直井委員

実際のセンターの様子がわからず、イメージしづらいと思えます。例えば、搬入口がどこにあって、輸送所がどこにあって、というような全体的な流れをわかりやすくしていただきたいです。

深井教育次長

今のご意見につきましては、基本設計のための予算をお認めいただいて、どういった配置が良いのか、どの設備を入れるのかといった詳細について現在検討中であります。この内容については次回の建設検討委員会で協議し、その際、基本設計をお示ししながら検討する予定であります。建設検討委員会で議論された内容については、教育委員会にも情報を伝えていきます。

本日は、センター化することが良いのではないかとこの建設検討委員会の結果を踏まえ、教育委員会にお諮りします。また、これまで建設予定場所については田中小学校北側ということでお話していましたが、田中小学校に隣接するおよそ 2,980 m²のこの場所でもよいかについてもお諮りします。

小林職務代理

今後、建設検討委員会で協議した内容を、教育委員会にてその都度協議するということでもよいでしょうか。

深井教育次長

そのとおりです。

土屋教育課長

建設検討委員会は、今後2年～3年、完成するまで継続していくと思われます。そのため、必要に応じて、建設検討委員会で検討された事項について、教育委員会で承認いただきたい内容についてはその都度ご判断いただきたいと思えます。

直井委員

先ほどの意見に補足で、金属片等の異物混入の対応についても対応していただきたいです。髪の毛の混入についても可能な限り減らすようにといったことについても、視点としては持っておいていただきたい事項です。

小林委員

センター方式を採用するのか、自校方式を採用するのかという判断のところ、もちろん少子化や資金面も関係してきますが、やはり子どもたちの食の安心安全という観点からセンター方式を採用するということを重点に進めていっていただきたいです。

山口教育長

整備方針としては、センター方式として進めることを確認し、建設予定場所については、田中小学校北側周辺で決定し検討していくことについて、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、承認ということでお願いします。

続きまして、議案第 38 号東御市図書館協議会委員の委嘱について、説明を求めます。

縷沢図書館係長

説明します。東御市図書館協議会委員には、社会教育関係者として社会教育委員から選任を行っています。社会教育委員が令和 6 年 6 月末をもって任期満了により退任したことに伴い、協議会委員の後任の選任がありました。新たに柳澤秀樹さんと大村裕子さんを新たに選任します。この 2 名について、任期は令和 6 年 7 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日となります。

山口教育長

この内容について、ご意見等ありますでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、承認ということでお願いします。

続きまして、(2) 重点取組みに移ります。ア 不登校対応について、説明を求めます。

長岡指導主事

ア 不登校対応について、説明します。(個人が特定される情報は非公開)

不登校者数としては、小学校では 8 名、中学校では 19 名であり、前回よりやや微増とい

う状況であります。昨年度から課題となっている児童生徒が多く該当しており、学校やサポートセンターのアプローチに対して、保護者とうまくつながっていきにくい家庭や保護者の意識が子どもへ届きにくい家庭等であり、苦勞しているところであります。欠席日数も全欠に近い子どもたちが多いです。子どもサポートセンターや適応専門支援員等による支援も入ってもらっていますが、成果がすぐに見えてきにくい部分であります。報告があった児童生徒の中には欠席は0ですが、家庭に問題があり虐待を疑われる児童もいます。ゲーム依存の児童生徒もいます。いずれも子どもサポートセンターには手厚く対応していただいています。保護者や家庭の不安定さが原因で、本来であれば家庭とのつながりを築くことができることもなかなか難しい状況があります。根気強く、様々な人が関わっていただいくことが引き続き必要となります。

小林職務代理

担当の方には本当に手厚くサポートしていただいています。その点についてぜひ家庭の方にわかっていただきたい部分であります。

長岡指導主事

そのとおりです。すぐに結果がでなかったりうまくいかなかったりしますが、担当の方には諦めずに根気強くやっていただきたいです。

富岡委員

子どもたちはほんのちょっとしたことがきっかけで学校に行きたくなくなることもあります。その一方で、いつもと違うところに入ることで、これまでの気分が変わるということもあります。いろいろな人が見てくれている、心配しているというサインを送ってあげることが大事だと思いました。

長岡指導主事

教育委員の皆様をはじめ、いろいろな人の目が入ってサポートしていることは大変ありがたいことであります。

山口教育長

続きまして、いじめの状況について、説明を求めます。

岡澤指導主事

説明します。(個人が特定される情報は非公開)

報告があった内容は、言葉によるものとたたかれたという内容のものです。特に小学校では高学年の報告が多いですが、低学年のうちに子どもたちをよく見ていくことが必要で

あると感じています。

山口教育長

引き続きよろしく申し上げます。

続きまして、ウ 学校 ICT 教育について、説明を求めます。

畑田指導主事

ウ 学校 ICT 教育について、説明します。やはり校務用 PC の不具合の対応が多く、今月も支援していただいています。先月の定例教育委員会で業務支援についてご指摘をいただいていますので、授業への支援を行っていただくようお願いしました。英語の交流授業のリハーサルや当日機器の準備や授業支援、タブレットの使い方の授業も行っていただきました。一方で中学校では、職員の支援が多かったようであります。他にもソフト開発や iPad クラブの指導も行っていただきました。

小林職務代理

今お聞きした内容は、授業外の支援がほとんどで授業内の支援が行われていないように思われます。現在やっていたら支援内容をやっていただく方が新たに必要であると思われます。あくまでも児童生徒の技術向上のための支援員であってほしいです。

畑田指導主事

授業で活かすことができるような支援を行っていただきたいところではありますが、実際問題としては、機器の不具合が多くそちらの支援もしていただいているような状況であります。

小林職務代理

授業の支援を行う人と、機器の整備をする人とをきちんと分けてやっていただきたいところあります。

畑田指導主事

学校側としてこういったニーズがあるのかを再度確認したうえで検討させていただきます。

深井教育次長

今のご意見は大変貴重なご意見であると思います。本来 ICT の支援員という形で、児童生徒の ICT スキルを向上させるための立場の職員でありますので、この内容については ICT 推進協議会でも検討させていただきます。

小林委員

毎月 PC の不具合が多いですが、今年度の PC 入替えはどのくらいを想定していますでしょうか。

土屋教育課長

今現在は 170 台程度を検討していますが、物価高騰の影響もあり、現在の検討台数より少なる可能性もあります。現在精査中であります。

小林委員

いつ頃切り替えとなるのでしょうか。

土屋教育課長

11 月頃を予定しています。

山口教育長

今回いただいた内容については今後協議会でも検討いただき、教育委員会での説明もお願いします。

続きまして、エ 幼保小の連携について、説明を求めます。

畑田指導主事

エ 幼保小の連携について、説明します。

先日、7月9日に令和6年度第1回幼保小接続委員会が行われ、今回は小学校区ごとの話し合いがメインとなりました。幼稚園保育園と小学校の関わりが深まってきている様子が感じられました。この委員会で検討しているスタートカリキュラムは、子どもたちの様子を見ながら進められているようです。委員会では、分散会が始まってからすぐに活発な話し合いとなり、双方に共有したいことがたくさんあるように感じ、保育園での遊びが学校で活かすことができるように子どもの発想を大事にしてくれる学校が増えてきたようです。この委員会について、手ごたえを感じているように見られました。

今後の課題としては、参加者の意識に個人差が見られる点です。委員会で得た結果や情報を担当者だけでとどめておくのではなく、各学校や各園で共有して全体として意識を高めていく必要があります。この点については、教育委員会から校長会や教頭会等を通じて依頼していくべき内容であります。

次回の委員会について、各小学校での開催を検討中です。その際に合同学年会の形で関係者が一堂に集まることのできる場を設けたいと検討しています。特にスタートカリキュラムは内容を何度も検討していかなければならないものですので、そういった場が必要で

あると考えています。また、私立幼稚園や保育園についても参加を呼びかけ、交流を継続的に働きかけていきたいと考えています。

毎年、教育委員会で「もうすぐ1年生」という就学予定者向けのクリアファイルを作成しています。このクリアファイルは、小学校に入学するまでに基本的な生活習慣等について身に着けようといったことをイラスト付きで記載しているファイルです。この内容について、この委員会で再度検討し、新たな内容でのクリアファイルを作成したいと考えています。

春原保育課長

ここまでの委員会を通じて、課題が見えてきたことがあげられます。当時私が園長として参加していた当初のころは、小学校と保育園の担当が顔を合わせてお互いを知り、情報交換を行うということが主な内容となっていました。今では幼保小の連携の重要性を把握したうえで課題は何かといったことまで話し合いがされています。

山口教育長

この内容について、ご意見等ありますでしょうか。

小林職務代理

課題が見えてきたとおっしゃっていましたが、具体的にはどのような課題でしょうか。

春原保育課長

まず1つ目に職員に個人差があるということです。「学校探検計画を立てる」場面で例えると、子どもたちの不安を少なくしたい、学校は安心できる場所というイメージが持てるよう入学前の学校探検の必要性をお互いが感じ計画が進められるところと、入学前にやりすぎると入学後の学校探検の新鮮さが失われてしまうのでやりすぎない方がいいと提案されるところと、職員の考えに個人差を感じる場面がありました。その他の場面でも同じように個人差を感じることもありました。その時には「そうですね」とそこで話が終わってしまうのではなく、お互いがなぜ必要とを感じるのか、なぜ必要ないと感じるか、目の前の子どもの姿を語り合い話し合っていくことが今後は大事になっていくと感じています。

2つ目に、公立保育園以外の保育園や幼稚園で、入学する学区が複数ある園の接続カリキュラムの作成方法です。公立保育園は比較的学区同士で接続カリキュラムがつけやすいですが、一方で複数の小学校へ入学する園はいくつもの接続カリキュラムの作成が必要になってしまいますので、作成方法を考えていかなければと感じています。

小林職務代理

保育園ではのびのびと生活できていたにも関わらず、学校では保育園にいたころとは様

子が違うということが見受けられます。

このことについては、小学校側に問題があるということなののでしょうか。

畑田指導主事

この内容については、小学校から中学校に上がる段階にも同じことが言えます。小学校では最高学年で学校全体を引っ張ってきた児童も、中学校に入ると幼いように見えます。それは自然なことであり、仕方がないことでもあります。ただ、小学校に入学する児童も何もできないわけではなく、そう思い込んでしまう部分が大人の中にあるのではないかと考えます。できることはもっと子どもたちが主体的に取り組むことができるように、対応していくことが必要であると思います。その部分について、この委員会で話し合い、情報を共有していく場になっていけばと思います。

小林職務代理

ぜひその点については、スムーズに接続が行っていくことができるようになっていただきたいです。

五十嵐委員

クリアファイル「もうすぐ1年生」について、メインで入れていきたい内容等については現時点で考えていますでしょうか。変更するきっかけ等があるのでしょうか。

畑田指導主事

このクリアファイルは学校教育係で作成しているものです。内容については、教育委員会が主体で考えたものですので、組織改編があったこのタイミングで、今後は現場である保育士の声を聞きながら作成したいと考えています。

山口教育長

この内容は私が指導主事の際に担当していた内容で、保育園や小学校に意見を聞きながら微調整を行ってきました。接続委員会という場で検討していくということにより良いものを作成していただきたいです。

富岡委員

先日保育園を参観させていただきました。これまでも子どもたちを見てきましたが、集団の中での子どもらしさや自分の特性を出しながら友達を関わったり親切にしてくれたり等、実際に子どもたちの様子を見るということがとても重要であると感じました。担当教諭だけでなく、小学校の他の先生たちにもぜひそういう機会をもっていただきたいです。

小林職務代理

園児に関連して、市内に療育が必要な児童が通うことができる施設はあるのでしょうか。

春原保育課長

市内では、岩井屋こども館があります。保育園に在園しながら療育施設を利用されている方もいらっしゃいます。

小林職務代理

そういった園児の接続はどのように行っているのでしょうか。

畑田指導主事

該当園児については事前に行動観察や就学前教育相談を行って保護者との合意形成をし、教育支援委員会に諮ったうえで就学校を決めています。

山口教育長

続きまして、(3) 報告に移ります。教育課から順次報告をお願いします。

畑田指導主事

(7) 就学に際して特別な配慮が必要と思われる幼児の就学前教育相談について、報告します。

夏休みの時期に小学校と保育園のそれぞれの担当者と、保護者、教育委員会担当者が行います。先ほどの協議事項のなかでも話がありましたが、就学に向けて、学びの場所は特別支援学級あるいは特別支援学校での学びが良いのか、それとも通常学級のなかで配慮してもらえば学習していくことができるのか等の内容について、保護者と話し合いをし、就学する場所を決めていきます。学校職員に配慮し、この夏休みの時期に毎年実施していますが、この時期以外にも必要に応じて実施しています。

就学前教育相談は、早期発見早期対処が重要となってきますので、事前に6月頃保育園幼稚園を担当が回り、園児について先生方と支援が必要なのかどうかを見極めたうえで就学前教育相談を実施しています。その際、長野大学の教授にも全ての園へ同行していただき、園児の状況を見ていただいています。

小林委員

現時点で何名程度が実施予定でしょうか。

畑田指導主事

今年度は40名程度の方です。昨年度は30名程度でした。

山口教育長

就学前教育相談を実施する園児は年々増えているのでしょうか。

畑田指導主事

概すると増加傾向にありますが、年度によって増減の差があるようです。

小林職務代理

専門家が、支援が必要だと判断しても、保護者が認めないというようなケースはあるのでしょうか。

畑田指導主事

保護者が認めないというケースはあります。

ただ、長野大学の教授や臨床心理士が園児の様子を見て、話させてもらいたいと担当側からお願いをしてお声がけしています。それでも断る保護者も中にはいらっしゃり、小学校に入学してから学習において困難さが出ないとわからないようです。実際問題としてこういったご家庭はいらっしゃいます。

春原保育課長

保育園で保護者に声をかけておくことは重要であると思います。保育園での心配な場面が、小学校で学習が始まったときに本人の困ってしまう場面として考えられる姿を丁寧に説明はしていますが、それでも保護者が断ることもあります。保育園で声をかけさせていただくことは、小学校入学後につながっていくと思いますので、丁寧な声掛けを継続していこうと思います。

五十嵐委員

この 40 名という方々は、保育園側から声をかけて教育相談を実施する方々でしょうか。それとも保護者側から希望があった方々でしょうか。

春原保育課長

両方あります。

畑田指導主事

この内容は就学前教育相談であり、少しでも不安があって相談したいといった方も含まれていますので、実際に教育支援委員会に諮る人数としてはこの数字より少なくなると思われれます。

小林委員

この相談を受けて、病院で診断してもらおうという例はありますか。

畑田指導主事

医療受診が必要だという判断についても相談の中で確認を行います。その際にも誰がどのように受診を勧めていくのかについても検討したうえで対応していきます。ある程度医療受診が必要だという方については、保育園でも声をかけていただいておりますが、それだけではうまくいかない場合は、教育委員会の担当者も一緒に参加させていただき、お声がけをしています。

小林職務代理

発達障害のほかに、吃音やチック等の専門的な部分について市は対応できているのでしょうか。

畑田指導主事

市民病院に言語聴覚士がいますので対応できているかと思えます。また、臨床心理士もいますので、そういった専門的分野については対応できているかと思われれます。さらには、今年度から田中小学校にことばの教室が常設されたことで、その担当者につないで対応しています。

小林職務代理

視覚障害者についてはいかがでしょうか。

畑田指導主事

視覚障害者については、東信教育事務所のみえかたの教室への接続や、長野ろう学校や長野盲学校等の相談支援を活用等、連携して対応を行っています。実際に園に来てもらって対応していただいたこともあります。担当者会議があり、相談や情報交換を行っています。数的には少ないですが、そういった子どもたちを見逃さないように心がけて実施しています。

山口教育長

以前、見え方や聞こえ方について、教職員向けに研修を行ったこともあったかと思いません。

畑田指導主事

そのとおりです。担任だけでなく養護教諭等にも参加してもらい実施しました。

続きまして、(イ)夏季休業中の学校閉庁日の実施について、報告します。

今年は、8月9日(金)～18日(日)の休日を含めて10日間を学校閉庁日として定めています。緊急時については、平日は教育委員会に連絡してもらうこと、休日及び夜間については市役所宿直が緊急連絡先となり、受けた連絡については各学校の関係者へつなぐようにします。

小宮山学校施設係長

(ウ)令和6年度食育の推進について、報告します。今年度は大きく3つの取り組みを実施予定であります。

まず、9月第2週頃にアスリート食事体験を実施予定です。この日は市内統一献立で、アスリート食堂で提供されているメニューを学校給食用にアレンジして提供します。今年度は祢津小学校6学年をモデルクラスとし、アスリート食堂の管理栄養士からの説明等を予定しています。

また、県農産物マーケティング室からお声がけをいただき、同じく9月頃に地元農産物に関する食育を実施します。滋野小学校を対象として、地元の農産物、特にぶどうに関する食育を行います。地元の農業者からぶどうの歴史や品種の紹介をしていただく予定です。

また、10月頃に、魚に関する食育を実施予定です。和小学校を対象に実施します。今回は骨付きの魚の食べ方について学びます。骨付きの魚を食べる機会が減ってきていることから、骨付きの魚について取り組む予定であります。

特に2つ目、3つ目の取り組みについては、対象校以外にも情報共有を行い、次年度継続していくことが可能かも検討しつつ取り組んでまいります。

なお、アスリート食事体験については、教育委員の皆様にもぜひ体験していただきたいですので、ご希望のある方はお声がけいただければと思います。

岡澤指導主事

(エ)「東御市の人権同和教育」(冊子)について、報告します。

例年作成している冊子について、現在作成中です。完成したところで教育委員の皆様にお配りしますのでご承知いただきたいと思っております。

山口教育長

続きまして、保育課の報告をお願いします。

春原保育課長

(フ)お盆期間中の保育について、報告します。

8月13日から16日のお盆期間中は、各保育園で保育を必要とする園児数が少なくなり

ますので、田中保育園で集約をして保育を行います。他の保育園については、保育を実施しません。

山口教育長

(4)その他について、何かありますでしょうか。

直井委員

滋野小学校の雨漏りがひどい状況です。特に教室棟では、天井の配管を伝うように雨漏りが起こっているようです。

小宮山学校施設係長

現在は音楽室の雨漏り修繕を行っているところであります。教室棟の雨漏りについても現地を確認済みですが、修繕の方法について検討を実施中です。また、他の学校でも雨漏りの報告をいただいております。緊急性に応じて対応していきます。

直井委員

雨漏りした部分だけ修繕するといったことを何度も繰り返していくより、全体的な改修が今後必要になってくるかと思えます。

小林委員

柵津小学校で、学校応援団の方にボランティアで登山に同行していただきました。その際、池の平駐車場に車を停めた際に駐車料金として 600 円かかり、自己負担をしていただきました。これまで同行していただいたときも自己負担で対応していただいていたようです。可能であれば、教育委員会を通じて管轄である観光協会に話をしていただき、学校応援団等ボランティアで活動していただいている方については免除等の対応をしていただけないでしょうか。

深井教育次長

今のご意見については、担当課の方に確認をします。

山口教育長

それでは、7月度定例教育委員会を閉会します。